

2011年4月15日

東北地方太平洋沖地震緊急災害対策本部 本部長  
内閣総理大臣 菅直人 様

新日本婦人の会会長 高田公子

## **温かい食事、生活費の支給、トイレの改善を急いでください**

未曾有の大震災・津波被害、原発事故に対する連日のご奮闘、本当にお疲れ様です。

関東のある公共施設の避難所に義援金をもって訪ねると、4月14日の時点でも、「食事は冷たいものばかり」「取るものもとりあえず避難し、手元にお金がない」「トイレが少なくて困っている」など切実な声が寄せられています。長期の避難生活で心身ともに疲弊している被災者にとって、いのちにかかわる問題です。ボランティアの力を借りることはもちろんですが、政府の直接の対策が求められます。

すでにくりかえし要望していますが、以下の対策を直ちにとるようお願いいたします。

- 1、国が避難所の食事内容をつかみ、温かい食事が出るようにしてください。調理施設のある避難所に給食調理員を雇用し、ガスが止まっている所にはボンベを配給するなど、国の責任で本格的な食事支援をしてください。
- 1、被災者に一日も早く緊急生活資金、義援金、原発事故補償仮払金を手渡してください。
- 1、避難所の規模に合う仮設トイレを設置してください。